

春です。1年でもっとも過ごしやすく、乳量や繁殖成績も良くなる季節です。ただし、西南暖地ではそろそろ暑熱対策を施す時期でもあるので注意してください。

さて、今回は3月から提供を開始した新しい情報である次世代診断を紹介します。この情報は、牛群検定により報告された授精情報をもとに、生まれてくる子牛の遺伝的能力などを予測したものです。次世代診断情報を上手に活用して儲かる牛群を作出しましょう！

授精結果による次世代診断

月々の検定成績表とともに毎月発行します。人工授精の結果は問わずに全て雌が生まれると仮定して産子の情報を表示します。主に次のことをチェックするようにします。

- ①十分な遺伝能力が期待されるか
- ②近交係数が高くないか
- ③難産、死産の危険性は高くないか

もし、これらが思わしくない診断結果であれば、次の授精の時には種雄牛を再検討するようにします。難産、死産の危険が高い交配において、このまま受胎してしまったときは、牛体の過肥などを十分に留意する必要があります。

次世代診断情報（総合診断）

年に4回、改良情報の発行に併せて発行します。処理日時点での人工授精の結果によって生まれてくる産子の遺伝情報を分析し、あなたの牛群の改良方向などいろいろなグラフも用いて示します。主に次のことをチェックするようにします。

- ①次世代の遺伝的な能力が、現在より上回ることを期待できるか
- ②泌乳能力と体型、体細胞などバランスの良い改良が期待できるか
- ③疾病に強く繁殖性の向上等につながるとされる泌乳持続性の改良が期待できるか

★アンケート実施中★

各検定組合を通じて、牛群検定の情報提供に関するアンケートを実施中です。日頃のみなさんのご意見をどしどしお寄せ下さい。インターネットでもアンケートに答えることができます。

「牛群検定情報」で検索 または、
URL アドレス http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei_enq.html